

モバイルスタジオを利用した FOMA 高品質音声中継放送システムの構築

(株)エフエム滋賀



会社概要

- ◆ 会社名 株式会社エフエム滋賀 (e-radio)
- ◆ 代表取締役 小林 徹
- ◆ 創立 平成8年7月1日
- ◆ 資本金 5億6,000万円
- ◆ 所在地 本社 / 大津市西の庄19番10号 リンクスビル6 F
東京支社 / 東京都千代田区麹町1丁目8番地 JFNセンター
彦根支局 / 滋賀県彦根市京町1-3-1 K1ビル2 F
- ◆ 周波数 77.0 MHz
- ◆ 送信出力 1 kW
- ◆ コールサイン JOUV-FM
- ◆ 放送区域 滋賀県及び周辺地域
- ◆ 放送開始 平成8年12月1日 本放送開始



実施内容

- 2004年10月2日(日)に行われた「第4回びわ湖男女駅伝大会」において「FOMA」のデータ通信サービスを利用した高品質携帯中継専用装置「mobilestudio」(以下モバスタ)を使って中継放送を実施した。モバスタは広帯域の音声の伝送が可能でしかも可搬型。FPU送受信装置のように専門スタッフの必要もなく低ランニングコストで臨場感のある生中継が実現でき、弊社にとって大変有益なシステムである。
- 当日は、上記「モバスタ」搭載のラジオ中継車とスタジオとを2線で結び中継放送を実施し、さらにスタジオ側にも視覚情報をより多く伝えるため、株式会社NTTドコモ関西様の機材協力を得てラジオ中継車からの映像をFOMAを使ったテレビ電話でスタジオにリアルタイムで配信。スタジオパーソナリティトークの判断材料として大いに機能し、映像伝送を伴わない駅伝中継やマラソン中継等の実施時には有効な手段であることを確認した。(システム図 次頁)



システム図



最後に

- 当大会は単に競技会というだけではなく市民参加型駅伝であるというもう一つの側面を持つ。そこで競技の様相や沿道の応援など長距離駅伝の持つ独特の雰囲気を一般聴取者から映像投稿してもらい補完メディアとして利用し更に参加性を加味した。弊社ホームページ内の携帯写真紹介コーナー「e-shot」にリスナーレポーターからの様々な視点からの映像をアップロードし公開。このシステムの利用はより“リアル”な駅伝の中継を可能にしたといえる。さらに、スタジオ映像はドコモ携帯電話FOMAの持つ「Vライブ」機能を使ってストリーミング配信し、スタジオの様子をFOMAで見ることができるなど、リスナーやパーソナリティにとっても、びわ湖男女駅伝の生中継は「見えるラジオ番組」をさらに一歩押し進めたと言える。
- 2004年秋から「ミニモ」と名付けたレポートカーに「モバスタ」を積んで滋賀県内外各地域の情報を夕方ワイド番組内で毎日生中継を実施。可搬型装置の持つ機動力で“放送エリア”を拡大し、更に地元滋賀に根付いた放送と生きた情報を新鮮なうちに届けるべく日々番組づくりにのぞんでいる。

